



車内の金城学院大学

110限目

「消費者教育論」

「車内の金城学院大学」公開中。

KINJO DAYS



 130

Dignity & Humanity
KINJOGAKUIN ANNIVERSARY 2019

「もらったお年玉はどこに行ったの？」

〔お金の教育〕

日本では、子どものお年玉は親が預かって貯金し、子どもに自由に使う家庭はあまりないようです。その背景には「お金は大切に貯めておくもの」という「貯める」教育を重視する考え方があります。一方、例えばアメリカでは、小学生になるとお金の管理は子どもに任せ、文房具などの必要なものは自分で買わせる習慣があります。また、幼い頃からお手伝いをすると小遣いが払われるほか、夏には子どもが自宅前などでレモネードを販売する風景も見られます。このようにして子どもは労働の対価として賃金を得て、欲しい物は自分で買う、ということを体験しています。国や文化によってお金の教育に対する考え方は異なりますが、「お金は大切だから貯める」だけではなく、「お金をどう貯めて、何のためにどう使うのか」という教育も、子どもが「消費者」となっていくために必要なことなのです。

暮らしや人生を見つめ、幸福な生き方を考える。それが、生活環境学部 生活マネジメント学科。

強く、優しく。



金城学院大学